



仙北市 こども家庭センター
 妊娠期から子育て期までの
 切れ目ない支援をします。



【電話相談 / 仙北市こども家庭センター】

《固定電話》 0187-43-3305

《携帯電話》 080-2813-0835

こどもを事故から守ろう！

こどもは成長と共にできることが増えていきますが、その一方で思わぬ事故にあう危険性が高まります。今回は、0～3歳くらいの子どもに特に起こりやすい事故とその予防方法について紹介します。

《水の事故》

海水浴シーズンである7・8月は海や川、プールでの事故が多く発生しています。

また、0～3歳児は、**自宅のお風呂**でおぼれる事故が多いです。少しの時間でも目を離すとおぼれてしまう危険があるため注意が必要です。

*子どもがおぼれてしまったら…

【お風呂場の場合】

- ・浴槽から子どもを出し、平らな場所に寝かせる
- ・乾いたタオルなどで体をくるむ

【海や川の場合】

まずは、自分の安全を確保して周りの人に助けを求めましょう

やみくもに海や川に入るのは危険です！

近くに人がいないときは

119番(救急)あるいは**110番(緊急)**に電話しましょう！

《窒息》

窒息の原因は大きく分けて2つあります

①鼻や口をふさがれたことによる窒息

寝返りのできない時期は柔らかい布団などに顔が埋もれてしまう危険性があります

②食べ物やおもちゃなどの誤飲による窒息

かむ力が未熟であることや、食事中に走り回る等、食事中の行動が原因で生じます

*のどに異物が詰まってしまったら…

まずは呼吸を確認して救急車を呼びましょう！

呼吸ができない場合

背部叩打法や胸部突き上げ法を繰り返す

背部叩打法

子どもの後ろから、体を支え背中をたたく方法

胸部突き上げ法(1歳未満の場合)

手のひらで後頭部を支えながら、指2本で胸部を押して異物を出させる方法

【入浴時の対策】

- ・お風呂場の鍵をかけておく
- ・お風呂場に子どもを一人にしない
- ・入浴後はお風呂のお湯を抜く
- ・洗面器のお湯も残さない

【屋外での対策】

- ・天候の変化に注意し、事前に危険な場所がないか確認しておく
(水の深さやすべりやすい場所がないか等)
- ・海や川で遊ぶ際は、子どもの体型に合ったライフジャケットを着用する
- ・家庭用プールは遊び終わったら水を抜く
- ・子どもだけで遊ばせず、大人が付き添う

【①の対策】

- ・あおむけに寝かせる
- ・硬めのマットレスを使用する
- ・寝ている子どもの顔の近くにタオルなど口を覆うものを置かない

【②の対策】

- ・丸い食べ物やかみ切りにくい食べ物(ミニトマト、こんにゃくなど)は小さく切る
- ・ピーナッツなどの硬い豆を食べさせない(5歳以下は食べさせないことが奨められています)
- ・子どもの手の届く範囲に、ブロックなどの小さなおもちゃを置かない



〈胸部突き上げ法〉

〈背部叩打法〉